

# UN/CEFACT FORUM 2003

## ソウル会議



CALS/EC部

寺川 陽  
鈴木 周一  
菊地 修

# 開催期間および会場

## 【会議名】

**UN/CEFACT FORUM 2003**

## 【開催期間】

**平成15年9月15日～平成15年9月19日**

## 【会場】

- ・韓国 ソウル
- ・COEX ワールドトレードセンター



(写真：COEXワールドトレードセンター)

# 参加者

## 【総務省】

情報通信政策局 情報通信政策課 課長 安村 幸夫

## 【プロジェクトメンバー】

プロジェクトリーダー 山下 純一(FBS)

国際委員会 委員長 大橋 正和(中央大学)

国際標準化WG 主査 磯部 猛也(建設技研)

他 5名

## 【JACIC】

CALS/EC部 部長 寺川 陽  
次長 鈴木 周一  
菊地 修

# 海外からの参加者 (TBG6)

【フランス】

**Bernard Longhi (TBG6議長)**

**MEDI@CONSTRUCT、EDIFRANCE**



【韓国】

**Chun Soo Hong**

**Jung Jin-Sung**

**Public Procurement Service**

**Uoon-Seop Kim**

**Jacob Kim**

**B2Binternet,Inc.**



# 参加の背景

## UN/CEFACTバルセロナ会議に参加

2002年3月に開催されたUN/CEFACT EWG バルセロナ会議に参加しD7（建設部会）において以下の紹介を行った

- 日本の公共事業の概要と国土交通省の取り組み
- 電子入札コアシステムによる国内標準化の取り組み

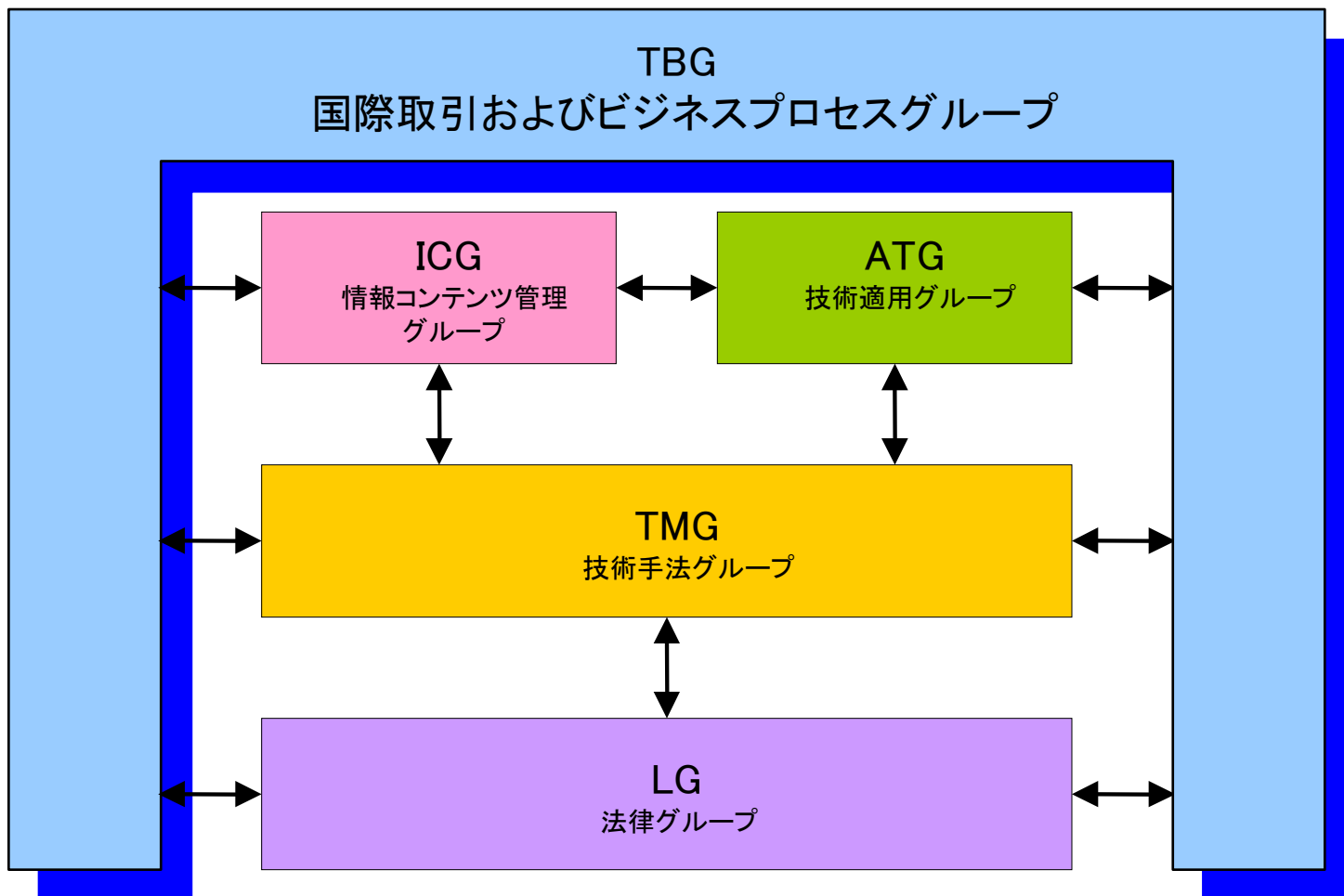
## その結果

D7議長Longhi氏より新規プロジェクトとして推薦  
D1（製品管理）D2（商取引）でも紹介を行った

日本が幹事国となり  
電子入札の国際標準仕様の作成

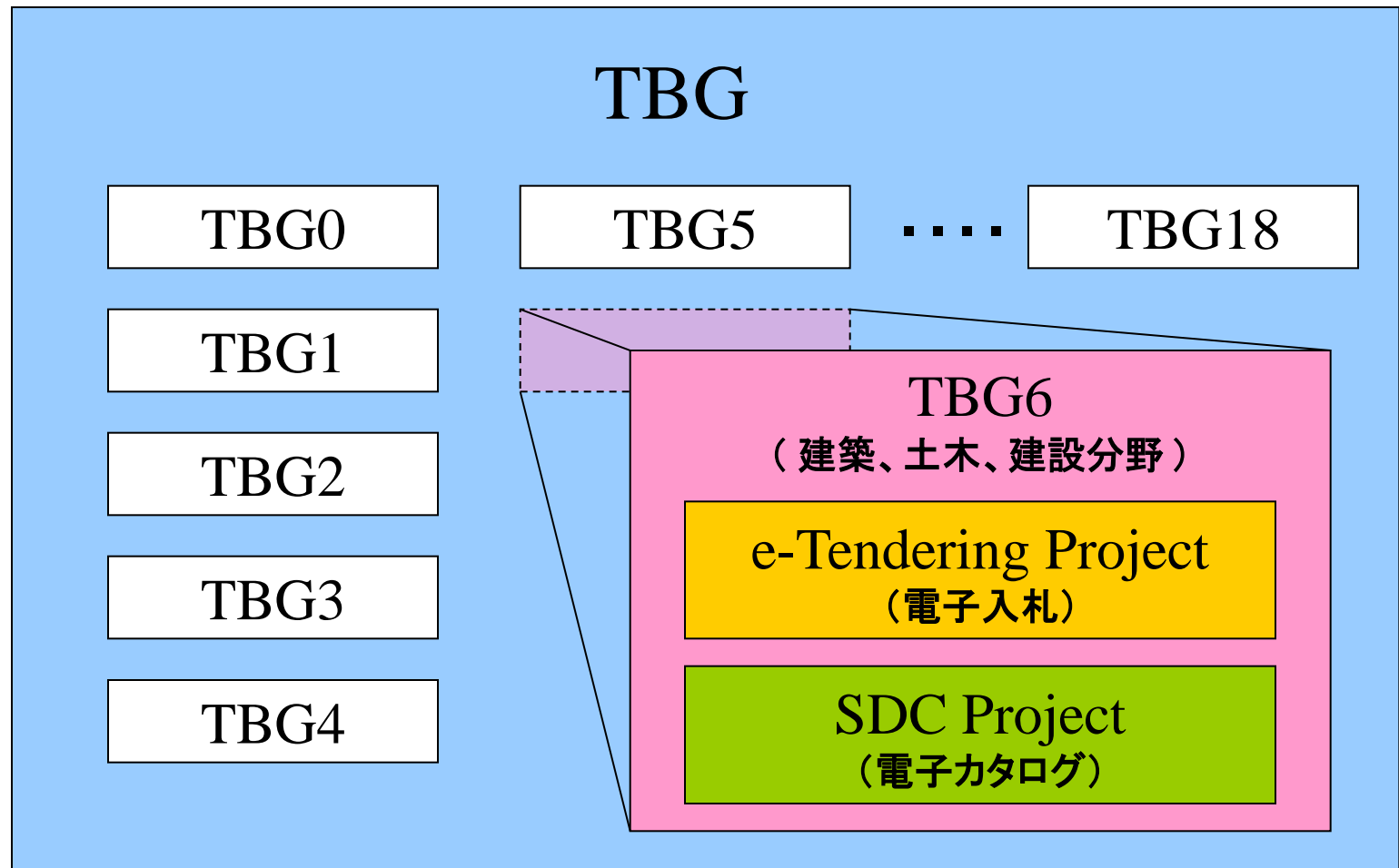
# UN/CEFACTの体制

UN/CEFACT FORUMは以下の体制で運営されている



# 電子入札プロジェクト

e-Tendering はTBG6の新規プロジェクトとして発足



# 国内体制

UN/CEFACT

e-Tendering  
ebXML  
Standards  
Project

参加国



フランス



デンマーク



スウェーデン



オランダ



イギリス



チェコ

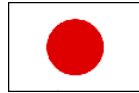


韓国



台湾

...etc



日本

国際標準化委員会

小委員会

電子入札コアシステム開発コンソーシアム

国際標準化  
WG

仕様検討  
WG

普及検討  
WG

Home page

事務局 (JACIC)

Mailing List

一般公開

参加国は2003年11月時点



# 電子入札プロジェクトの目的

全世界の様々な産業において  
様々な入札行為が行われている

インターネットの  
爆発的な普及

入札業務の電子化・  
インターネット化

情報技術の  
急速な発展

国際的な  
電子入札

国際的な標準化の  
必要性が増加

全産業横断的な電子入札の  
ビジネスプロセスと用語の標準化

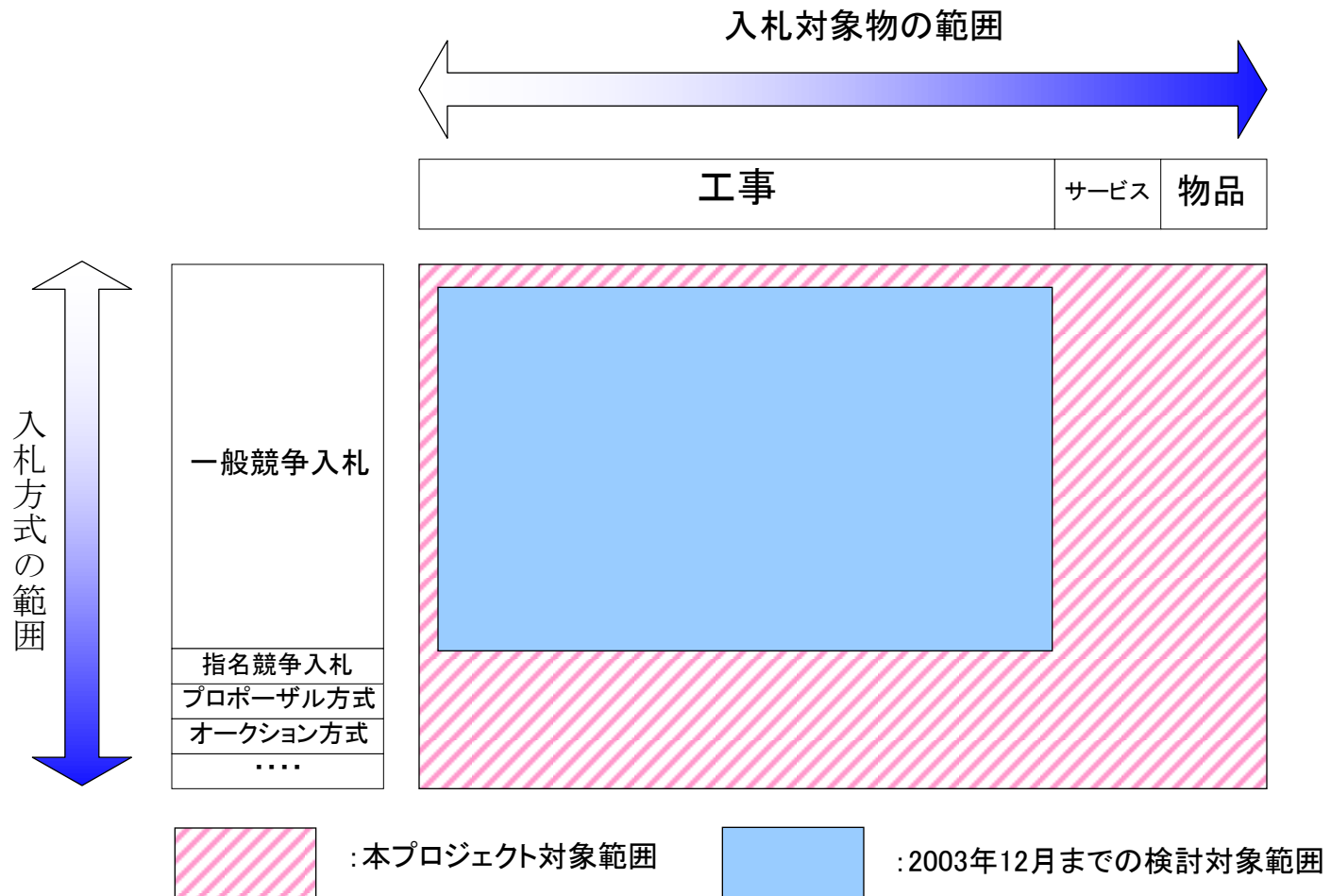
# 基本調査

- ・ 諸外国の公共事業における入札プロセス調査
- ・ 国内他産業の入札プロセス調査
- ・ 既に標準とされている事項の調査
- ・ コアシステムの再整理

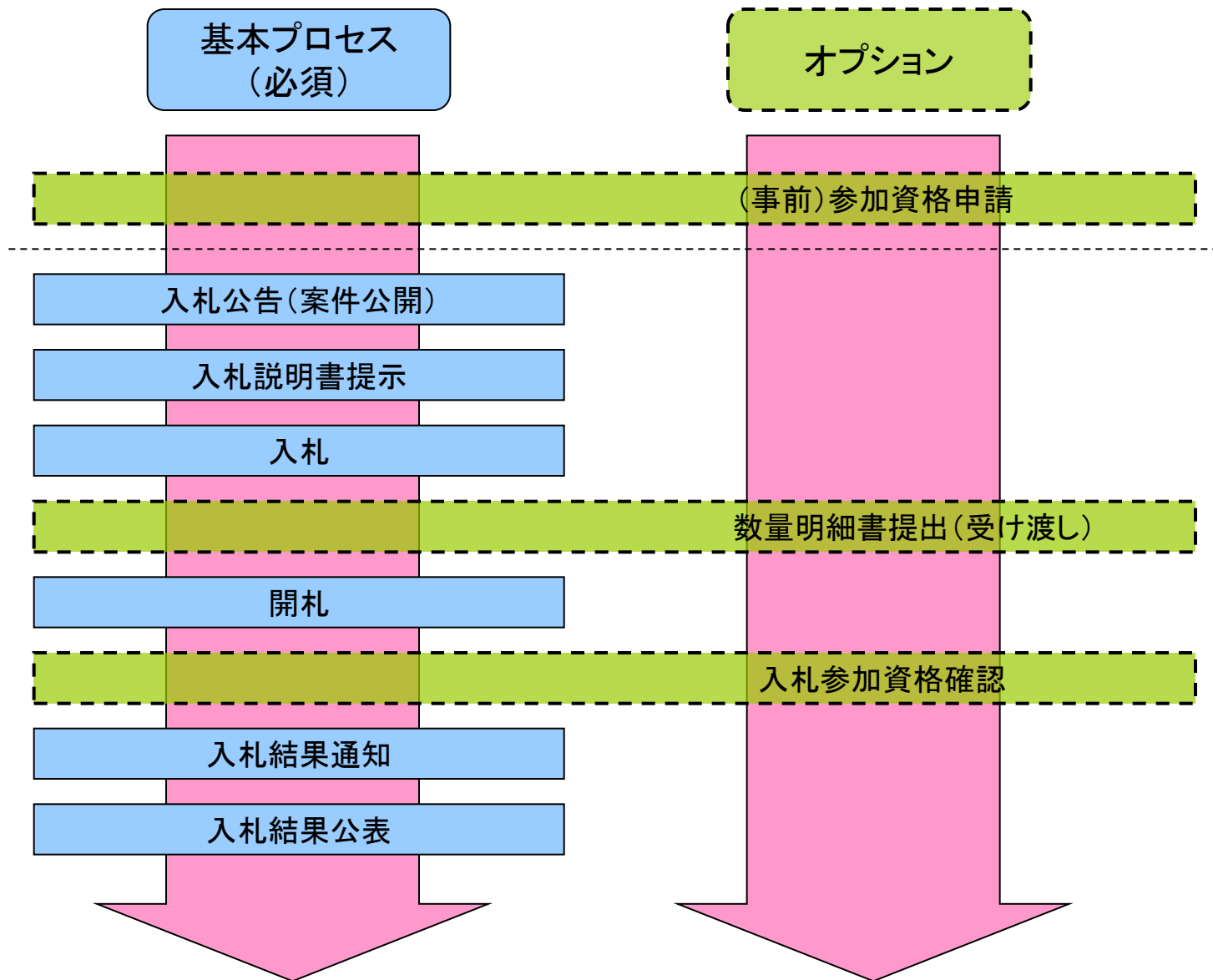
## 比較検討

標準化対象の業務種別の決定  
標準化対象の入札方式の決定  
入札プロセスの標準化案の作成

# 標準化範囲と対応時期



# 標準プロセス



# 国際標準化文書

## ビジネス要件仕様書 (BRS)

- ・対象範囲、ビジネスプロセス、関係者などを図や表化して表したドキュメント

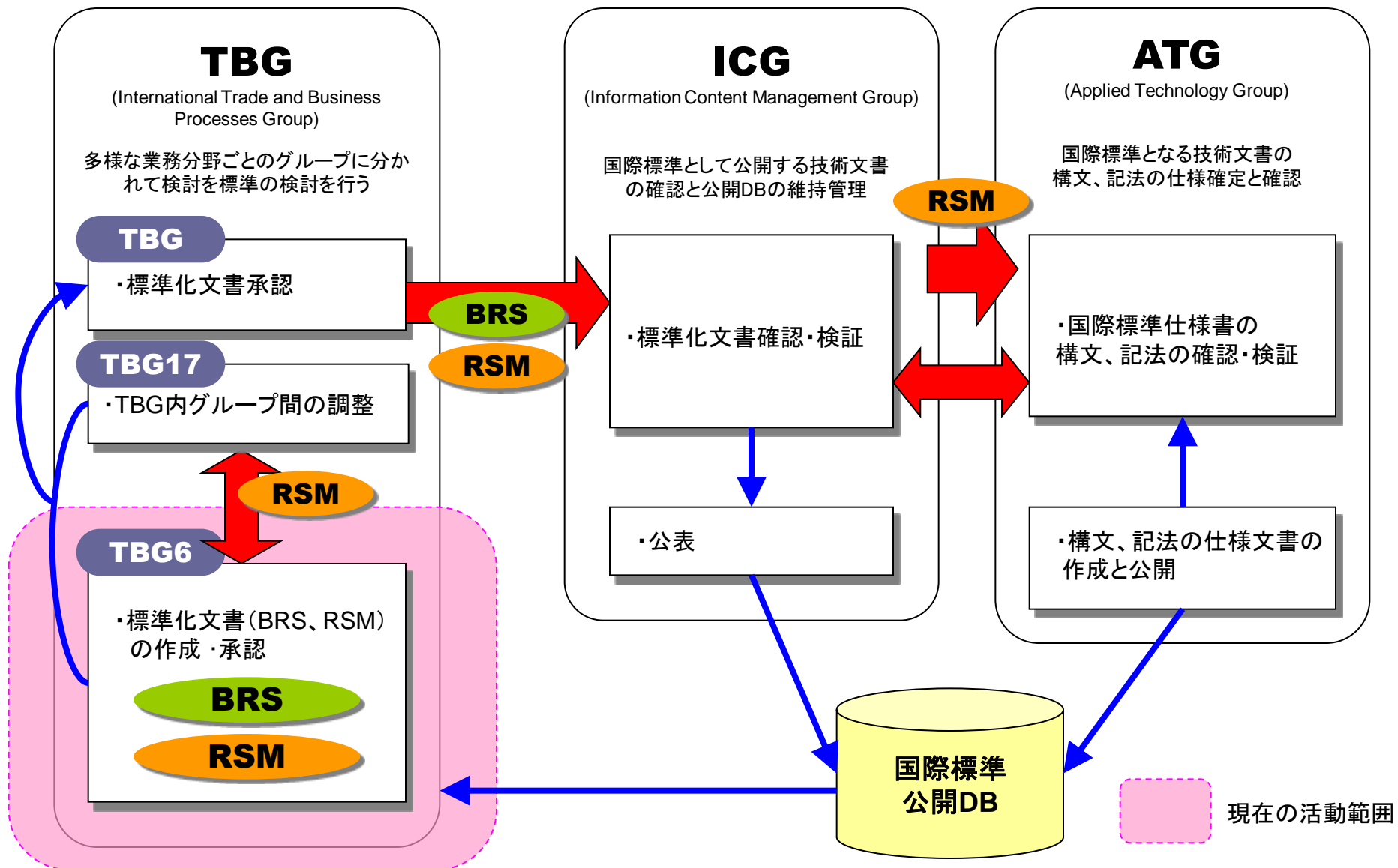
## 要件仕様マッピング (RSM)

- ・上記の要件仕様書で使用される情報項目やドキュメントの関係を定義するドキュメント

## UN/CEFACTモデリング手法 (UMM)

- ・上記の2つのドキュメントが今回の国際標準化に関する正式ドキュメントとなる。この2つはUN/CEFACTで定めているUMMに則って作成される

# 国際標準化文書の流れ



BRS: Business Requirement Specification

RSM: Requirement Specification Mapping

# ソウル会議での検討事項

## 情報項目（BIE）について

- ・日本から提示した情報項目標準についての確認。

## 数量明細書（BoQ）について

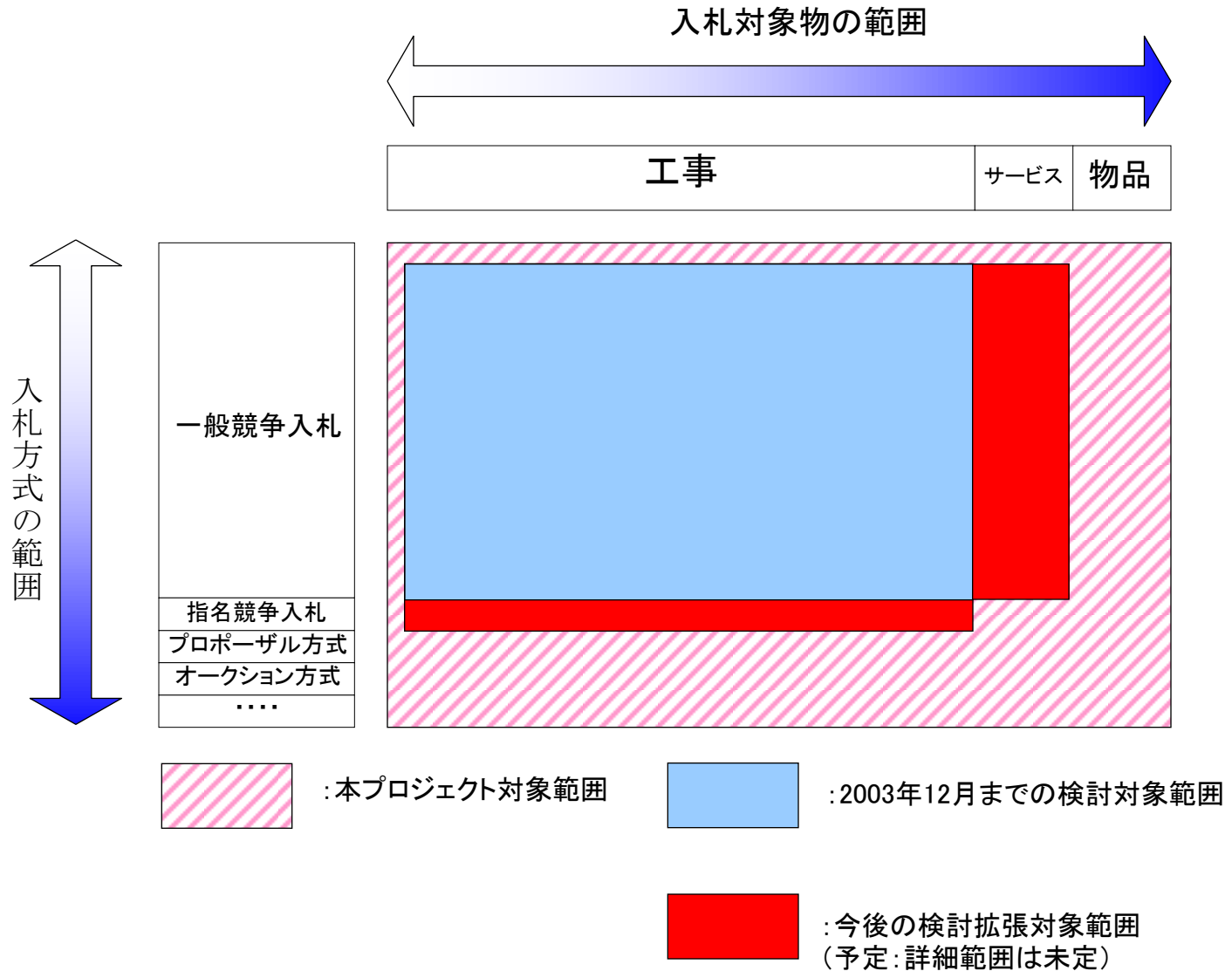
- ・欧州では提出が義務付けられている、数量明細書の扱いについて議論を行った。

## 意思決定事項について

- ・日本より、意思決定事項5点について参加国の意見を伺った。

- ①12月の会議開催について
- ②TBG6以外のコンセンサス作りの方法
- ③12月以降と3月以降の残作業確認
- ④標準化範囲の拡大
- ⑤BoQの標準化について

# 標準化範囲の拡大





# ソウル会議の結果

## (電子入札プロジェクト)

- **2003年末までに電子入札プロジェクトはUN/CEFACTの手法に従い「工事・一般競争入札」の正式文書(第1版)を提出する**
- **BoQ仕様は最初の正式文書に含める。ただしBoQ仕様はEDIBuild(フランス)により作成される**
- **2004年1月にパリで中間会議を行う**
- **2003年9月末までにBRSのドラフトを各国の代表に送付する(送付済み)**

# ソウル会議の結果(2)

(電子入札プロジェクト)

- **TBG6議長及び副議長はUN/CEFACT FORUMブリュッセル会議(2004年3月)において「公開会議」を開催するようにTBG議長に依頼する**
- **TBG6はTBG17の正式メンバーとして会議に参加する**
- **工事・指名競争入札の標準化作業は2004年1月から3月末の間で行う**
- **サービスの2004/2005年に向けた詳細計画及び、物品ドメインの方向付けは1月のパリ中間会議で議論される**

**THE END**